

2019年3月20日

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院感染制御部では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

レジオネラ菌の病院環境定着と感染に関する研究

[研究の背景と目的]

水道水の微生物汚染による感染事例は少なくないことが報告されています。しかしながら、本邦における事例の報告は少なく、有効な病院環境対策は不明な点が多いのが現状です。病院内の水系汚染の現状の把握と、それに対する有効な方策を検討するために、この研究では環境対策をプロトコール化し定期的実施することで環境からのレジオネラ菌の検出が減少するか検討します。また病院環境に定着する微生物と感染例との関連を調査します。

[研究の方法]

●対象となる方

レジオネラ肺炎の患者さんで、2015年1月1日から2018年12月31日の間に細菌培養検査を受けた方

●研究期間

2019年3月20日～2020年2月29日

●利用する検体やカルテ情報

レジオネラ菌が検出された菌株を使用します。また、カルテ情報は、年齢、性別、基礎疾患、臨床経過、放射線画像所見、血液検査所見、使用抗菌薬、予後に関する情報を予定しています。

●検体や情報の管理

東京医科大学病院微生物検査室で保存している菌株を使用します。菌株解析は国立感染症研究所で実施します。

[研究組織]

●研究代表者:東京医科大学病院 感染制御部 中村造

共同研究施設:国立感染症研究所 細菌第一部 前川順子

[個人情報の取扱い]

●臨床検体から検出された菌株については、研究対象者の氏名、イニシャルは本研究の調査項目に含まれず、カルテ番号も収集しません。研究対象者の個人情報とは無関係の記号を付し、一見して個人が特定できないように匿名化します。

●試料や情報の管理責任者は研究代表者となります。

●本研究で得られた成果を発表する場合は、研究代表者が協議の上取り決めます。また、国内外の学会にて発表、論文化を予定しています。

[問い合わせ先] 東京医科大学病院

感染制御部 中村造

電話番号 03-3342-6111(代表) (内線) 2525